

有限会社ウインドデコール

自動縫製機増強とCAD導入でカーテン縫製の品質と生産性を向上

高級ホテルや結婚式場のカーテンの縫製企業として様々なメーカーの要請に対応し信頼を積み重ね成長してきました。いくつかのネックとなる工程を改善し更なる短納期と高品質向上を図り顧客のニーズに応えていきます。



カーテンヒダ縫自動機

「ヒダ取り」「裾縫い」などの生産性を改善

「高級感のある仕上げ」「短納期」「量産」を実現するカーテンの縫製工程の中で「ヒダ取り」と「裾縫い」がネック工程です。これらの工程は「立体化」が品質の決め手となりますが、担当者の技術的な習熟度で大きく品質に違いが生じてきます。また、手書き図面から「型」を起こす際は、いくつかの工程や手間と時間を要していました。そこでコンピューター制御の縫製機、ヒダ取り機及びCADの導入を図ることになりました。

特殊なカーテンも更にきれいで速い仕上がり

当社社員のスキルはもともと高く、きれいに仕上げることができましたが、コンピュータ制御の縫製機及びヒダ取り機の導入により仕上がりに個人差がなくなるとともに、作業時間が50%程度削減し、特殊カーテンであっても顧客の高品質・短納期要請に対応でき

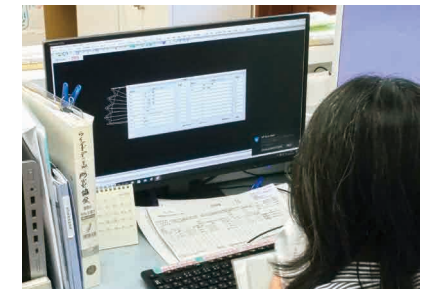


代表取締役の秋本さん

る生産工程を構築する事が出来ました。また、個人の設計ノウハウに負担がかかっていた課題については、CADシステムの導入でデータの蓄積やCAD図面からの「型」の出力ができるようになり、これまで要していたいくつかの工程とそれに伴う時間が大幅に短縮しました。このことは当初思っていた以上の成果でした。

補助事業の体験を今後も生かしていきたい

CADの導入については、採択後においても本当に効果がでるのかどうか、かなり迷いました。じっくり吟味した上で最終的に導入することを決断しましたが、予想を超えた効果があり本当に良かったと実感しております。今回初めての補助金の申請でしたので、よくわからないところが多々あり苦労しましたが、結果的にはその体験も良かったと思います。今回の体験を生かして、今後も補助金を有効に活用できればと考えています。



CADシステム

メーカーからも信頼の厚いオーダーカーテン縫製

当社はオーダーカーテンの縫製企業として20年以上の実績があり、カーテンメーカーやゼネコンなどから発注を受け、納入先の「仕上がり」や「短納期対応」の要望に応じてきました。難しい要請でも「どうやったらできるだ

ろうか」と考え工夫を積み重ねてきたことでメーカーからも様々な



裾三巻縫自動縫機

相談を受けるようになりました。納入先は高級ホテルなどが多く、ドレープカーテン、レースカーテン、特殊カーテン、ローマンシェードなどを手掛けています。

企業概要

有限会社ウインドデコール



代表者 代表取締役 秋本 静代
所在地 〒815-0075 福岡市南区長丘2-3-18
TEL 092-553-7988
FAX 092-553-7987
E-mail xu9pf9@bma.biglobe.ne.jp
URL https://wind-decor.jp/

業種 オーダーカーテン・シェードの断裁・縫製加工等
資本金 300万円
創業 1992年
従業員数 31人

